

平成27年度学校地域連携コーディネーター情報交換会(全体会)を開催しました。

平成27年5月21日(木)に、学校地域連携コーディネーターを対象とした研修会「平成27年度学校地域連携コーディネーター情報交換会(全体会)」を開催しました。

校内行事等により参加できなかったコーディネーターを除く、143名が出席し、情報交換等を行いました。

今回は、市立仲町小学校の池田 英之コーディネーターと市立大宮南中学校の野口 英世コーディネーターの2名が、スクールサポートネットワーク(SSN)の取組を中心に所属校での活動内容を発表しました。



【池田コーディネーターによる実践発表】

池田コーディネーターからは、取組の紹介の中で、地域に出て活動することを心がけていること、地域の方々と直接お会いしてお話すること、子どもと一緒に汗をかくことが大切と考えている、とお話がありました。

また、「仲町小・のびのびサンデー」という、第2日曜日に地域に校庭を開放する活動の紹介がありました。

「仲町小・のびのびサンデー」では、家族での運動や、自転車の練習等、子どもたちの体力づくりの場を提供することを目的にしており、ルール、マナーを守った中で楽しく活動できるようにしているそうです。



【野口コーディネーターによる実践発表】

続いて、野口コーディネーターからは、地域の清掃、パトロール、体験活動、コンサート等様々な活動を地域の方々と連携して取り組んでいるというお話がありました。特にコンサートは多くの方から好評を博しているそうです。

チャレンジスクールは地域の方々から協力をいただき、スタッフも体制づくりや教科書・教材の研究等、生徒の学習補助の内容の向上に非常に熱心に取り組んでおり、生徒にもよい影響を与えているというお話がありました。

また、「未来くるワーク体験(職場体験)事業」や「赤ちゃん・幼児ふれあい体験」についても担当の先生と連携して、生徒にとって豊かな体験となるよう努めているとの報告がありました。事業所等の理解もあり、体験活動の質の向上を図れているとのことでした。

メモ

学校地域連携コーディネーターは、学校と地域のつなぎ手の役割を中心に担う学校職員で、さいたま市では、全ての市立小・中・特別支援学校に1名ずつ配置しています。

SSNとは、School Support Network(スクールサポートネットワーク)を略したもので、いわば、各学校を御支援いただく「応援団」とも言えます。

本紙では、今年度も、各学校での「SSN」の様子を紹介していきたいと考えています。

今回は、南区の市立辻小学校の取組を御紹介します。

辻小学校では、「小・中・高・地域が一体となった児童・生徒の育成」に毎年取り組んでいます。



【おもしろサマースクール『カヌー教室』】

＜夏休みおもしろサマースクール＞

夏休み中に、近隣の小・中学校および高等学校の5校並びに地域・育成会が連携して、『夏休みおもしろサマースクール』を実施しています。取り組み始めて10年目となる今年度は、陶芸教室・カヌー教室・手作りはがき（紙すき教室）・ペットボトルロケット・切り絵教室・パズル・親子料理教室・折り紙教室など全部で12講座を実施しました。防災教室も、おもしろサマースクールの一講座として開催するようになり3年目を迎えました。南区の防災士の方々の指導のもと、地域を回り通学路の防災マップを作るなど、子ども達の防災への関心も高まっています。

＜ふれあいコンサート＞

12月には青少年育成辻地区会主催による『ふれあいコンサート』を実施しています。近隣の小・中学校および高等学校の吹奏楽部・金管バンドが一堂に会するコンサートで、会場となる辻小学校の体育館には、毎年たくさんの保護者や地域の方々が訪れて、地域の恒例行事になっています。

このほか育成会主催で、1月には『お正月遊び』、2月には『豆まき大会』なども開催しています。また夏休み中には『防犯パトロール』を実施し、教職員と共に交替で学区を見回るなど、児童・生徒の健全な育成に取り組んでいます。



【ふれあいコンサートの風景】



【科学未来探検隊のようす】

＜浦和南高校との連携＞

11月には浦和南高校が社会体験工房の一環として、小・中学生を対象に、バス2台で日本科学未来館への見学を行っています。高校生たちが小・中学生にプレゼンテーションを行い、大変充実した学習の機会となっています。

このほか、地学部が夏と冬に『天体教室』を開催したり、『サッカー教室』、『卓球教室』も毎年開催したりしています。

また、チャレンジスクールでも隣接する地の利を生かして、高校生による『学習アドバイザー』をはじめ、『書道教室』や『小動物とのふれあい』、卓球・バドミントンなどの『スポーツサポート』での連携を深めています。

辻小学校の取組から、地域の方々の御協力のもと、小・中学校および高等学校の児童生徒が連携し、それぞれの立場から体験したことを通して学習を深め、成長していく様子が見えてきます。

今回は、桜区の市立大久保中学校の取組を御紹介します。

大久保中学校では、「きれいな学校 輝く笑顔」を学校教育目標に掲げ、日々取り組んでいます。



【環境クリーン活動】

〈環境クリーン活動〉

大久保中学校では、毎年保護者の方、生徒、教職員が協働して、学校内外の環境クリーン活動を行っています。本校は開校68年目という伝統ある学校であり、近くに鴨川が流れ、のどかな風景も多く残る地域です。

当日、生徒は部活動ごとに分かれ、校舎内、敷地内のみならず通学路など、地域に出向き清掃活動を行いました。日頃学校を支えて下さっている地域の方々や学校をとりまく環境に感謝し、この体験を通して環境整備の大切さを学びました。

〈赤ちゃん・幼児触れ合い体験〉

11月30日、12月1日に地域の幼稚園の御協力をいただき、幼児触れ合い体験を実施しました。カルタ、ブロック、読み聞かせ、追いかっこなどをするうちに、幼児に触れ合う機会の少ない生徒も優しい笑顔に変わっていききました。この学習活動では、幼稚園の教職員の方々のおかげで、幼児とのかかわりに関心をもったり、楽しんだり、相手のことを思いやったりする姿が多く見られ、貴重な時間を過ごすことができました。地域全体で子どもをはぐくむ環境であることに感謝し、お互いの連携を深めながら実施しています。



【赤ちゃん・幼児ふれあい体験】

〈大久保中学校チャレンジスクール〉

大久保中学校では、「学習するきっかけを応援する」を目標に、チャレンジスクールを実施しています。学習アドバイザーには地域の方、卒業生、近隣の埼玉大学の学生さんなど各年代の方々が、また、安全管理員には、PTAとそのOBの方々に御協力いただき、一丸となり支えてくださっています。

運営のため学習アドバイザー募集のチラシを実行委員さんや学生さんが、埼玉大学で配布して下さるおかげで、生徒たちは、自分の学習に寄り添っていただける多くの方々に囲まれ、集中して学習に取り組んでいます。



【大久保中学校チャレンジスクール】

大久保中学校の取組から、地域の皆様が地域ぐるみで子どもを育てようとしている姿勢と、日頃の地域の方々からの御協力に対する学校の感謝の念がうかがえます。

S

S

N

# 情報館

今回は、見沼区の市立島小学校の取組を御紹介します。

島小学校では、「家庭や地域社会と共に歩み、協働し合う開かれた学校」をめざしています。



【SSN学校連絡協議会の様子】

## ＜SSN学校連絡協議会＞

島小学校では、毎年、SSN学校連絡協議会を1回、防犯ボランティア連絡協議会を2回開催しています。

今年度のSSN学校連絡協議会は7月7日に開かれ、各自治会長、民生委員、青少年育成会、放課後児童クラブ、交通指導員、スポーツ少年団、PTA等が一堂に会し、学校と情報・意見交換、協議を行いました。また、大宮東警察署の方から「子どもたちの安全対策と夏季休業中の非行防止」という演題で御講演をいただき、子どもの見守り方をどうすべきか参加者で話し合いました。なお、夏季休業中の交通事故はゼロでした。

## ＜多彩な内容の島小チャレンジスクール＞

今年度の島小チャレンジスクールは年間44回を計画しており、土曜日、月曜日放課後合わせて79名の児童が各1時間の自主学習と体験学習にチャレンジしています。

特色は体験学習の種類が多いことと、すべて地域や保護者の方から指導していただいていることです。ビーチボール、グラウンドゴルフ、囲碁、珠算、書道、藍染め、手品等の他、今年度はフラダンス、武道（杖道）、エコクッキング、英会話が加わり18種類になりました。学校の授業では体験できない活動も多く、参加児童も指導者も楽しみにしており、笑顔があふれています。



【地域の方とグラウンドゴルフ体験】

## ＜地域・保護者の学校行事への積極的な協力＞

防犯ボランティアの登下校時の見守りをはじめ、図書ボランティアによる読み聞かせ、町探検での引率補助等、学校・学年行事にも地域、保護者の方から積極的に協力していただいています。

1年生の「昔遊び」では27名の地域の方が、竹馬、ベーゴマ、独楽回し、はねつき、おはじき、お手玉、けん玉を教えてくださいました。竹馬に乗れた時の児童の喜びの笑顔が印象的でした。

島小学校では学校、PTA、ボランティア、チャレンジスクールスタッフ合同の交流会・懇親会も年数回開かれ、地域の仲間づくりの拡大や学校への正しい理解の一助になっています。



【みんなで昔遊び（けん玉）】

島小学校の取組から、学校が多くの方々に支えられ、様々なことに御協力いただいていること、学校が地域の方々の間の交流の場としても活用されている様子がうかがえます。